



平成30年

## 第53回 夏季大学

日時 平成30年8月26日(日)  
AM10:00～PM3:30

会場 愛知県 名鉄犬山ホテル

一般社団法人 全日本煎茶道連盟

後援 文化庁 愛知県 犬山市

# 第53回 夏季大学

研修会 名鉄犬山ホテル 彩雲の間

9:00 ~ 受付

10:00 ~ 開講式

10:20 ~ 第1講 田畑潤氏

『煎茶と古銅器』

12:00 ~ 昼食

13:30 ~ 第2講 平岡憲人氏

『よみがえる日本語「煎茶の心と大和の心」』

15:00 ~ 閉講式

## 第1講 「煎茶と古銅器」

田 畑 潤 (たばた じゅん)

煎茶具の中には中国古銅器やそれを模したものがたびたびみられます。明治・大正時代の煎茶席に飾られ、日本、中国の文人に愛された中国古銅器を取り上げ、その成り立ちと意義、中国における展開と日本の煎茶席に登場する様相について紹介します。

### 経歴

青山学院大学大学院博士（歴史学）後期課程修了  
愛知県陶磁美術館学芸員（2015年4月～現在）  
専門分野：中国考古学、中国古代



## 第2講 『よみがえる日本語「煎茶の心と大和の心」』

平 岡 憲 人 (ひらおか のりと)

煎茶道の原点「道の心」は「和の心・和の精神」であるとも言われる。その「和の心」とは何だろうか。「ヤマトとナガサキ」という言葉にその本質があることがわかった。最新の古文書研究をもとに、煎茶道の原点を訪ねよう。あなたはそこに、アメツチの恵みを共にする「大和の心」を感じるのだろうか。

### 経歴

昭和四十一年大阪生まれ、清風高等学校を経て、東京大学大学院工学系研究科修了、博士（工学）。清風情報工科学院・校長。

日本ヲシテ研究所・研究員。関西経済同友会・幹事。

日本語教育振興協会・評議員。

著書「よみがえる日本語——ことばのみなもとヲシテ」

(明治書院刊)





## 全日煎の歌

- 一、この一碗の煎茶から  
心と心 触れあつて  
みんなの喜び生れます  
清く 明るく さわやかに  
集う仲間の煎茶道
- 二、この一碗の煎茶から  
心と心 かよわせて  
みんなの楽しさ生まれます  
玉露のあじも まろやかに  
今日も相寄る煎茶道
- 三、この一碗の煎茶こそ  
その色 その味 その香り  
日本の心伝えます  
世界の人にお煎茶を  
幸せいのる煎茶道